

神経精神科

1. 診療科の概要

神経精神科では、気分障害、統合失調症、不安症、アルコール依存症、認知症、摂食障害、自閉スペクトラム症などの広範囲の精神疾患患者を対象とした診療を行っている。病棟と一般外来に加え、物忘れ外来、こどもメンタルクリニック、精神療法専門外来、性別違和外来などの専門外来にて診療を行っている。また、他科の病棟に入院している患者に対しても、精神科リエゾン・コンサルテーションを積極的に行っている。さらに、高度救命救急センターに搬送された自殺未遂者の全例に対し、自殺再企図を予防するための危機介入も行っている。

2. 臨床研修指導医

指導責任者（科長）：河西 千秋

指導医：橋本 恵理、柏木 智則、石橋 竜太郎、石田 智隆、野呂 孝徳

3. 研修担当者

氏名：田所 重紀 連絡先：tadokoroshigenori@sapmed.ac.jp

4. 研修初日の集合時刻と集合場所

集合時刻：9時00分 集合場所：臨床教育研究棟 10階 神経精神医学講座教室

5. 到達目標

- ・外来または病棟において、下記の症候を呈する患者について、病歴、身体所見、簡単な検査所見に基づく臨床推論と、病態を考慮した初期対応ができる。
＜けいれん発作、興奮・せん妄、抑うつ、成長・発達の障害＞
- ・外来または病棟において、下記の疾病・病態を有する患者の診療にあたることができる。
＜認知症、うつ病、統合失調症、依存症（ニコチン・アルコール・薬物・病的賭博）＞
- ・広範囲の精神疾患患者の対応について、精神科専門医に適切にコンサルトすることができる。

6. 研修内容

(1) 回診とカンファレンス

- ・教授回診と入退院カンファレンスを週1回行い、入院目的と治療計画、薬物療法の方針、精神療法的アプローチなどについてディスカッションを行う。

(2) クルズス

- ・指導医による、統合失調症、気分障害、認知症、睡眠障害、精神科薬物療法、アルコール・薬物依存、メンタルヘルスと自殺予防に関する勉強会を週1～2回行う。

7. 研修医の主な業務

- ・ 指導医や診療医による指導のもと、担当医として入院患者を診療する。
- ・ 外来にて新患者の予診を行う。
- ・ カンファレンスにて担当患者についてプレゼンテーションを行う。
- ・ 指導医や診療医による指導のもと、精神科リエゾン・コンサルテーションを行う。

8. 研修スケジュール

	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
月			外来または病棟研修			病棟研修			クルズス			
火			外来または病棟研修			病棟研修			クルズス			
水			外来または病棟研修			カンファレンス			クルズス			
木			外来または病棟研修			病棟研修			クルズス			
金			外来または病棟研修			病棟研修			クルズス			

9. 研修協力施設

- ・ たすきがけ研修病院（協力型臨床研修病院）
砂川市立病院、北見赤十字病院、帯広厚生病院
- ・ 短期研修可能な施設（臨床研修協力施設）
五稜会病院、中江病院、ときわ病院